

《取材のご案内》

「女性の健康と働きやすさ」「人生100年時代」…
現役中高生 × 首長20名
社会課題に挑む、白熱ディスカッション！

～未来会議コンソーシアムと玉川学園が協定締結 本格活動へ～

内閣府 SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」(注1,2)では、生活者参加型プロジェクト「世の中ちょっと良くする部」(注3)を立ち上げ、様々な活動を開始しております。

この度、これからの未来社会を担うワカモノとともに社会課題解決を考え、議論し、具体的なアクションをする課外活動「わたしたちの未来会議」を立ち上げました。学校法人玉川学園(東京都町田市)の中高生たちと、同チームのコンソーシアムが「連携協定」(注4)を新たに締結し、本格的な情報発信や社会提言を行って参ります。協定締結に合わせて、「わたしたちの未来会議」メンバーの中高生たちは、下記に記載の通り、2025年10月27日(月)、筑波大学東京キャンパスで開催される「スマートウェルネスシティ(SWC)首長研究会(全国133の市区町村の首長が加盟)」(注5)のスペシャルセッションに参加し、当日参加の20名の首長、銀行の頭取ら役員、大学教授らに中高生目線の意見、そして政策提言をぶつけ、ディスカッションに挑みます。

テーマは「女性の健康と働きやすさ」「人生100年時代」

また、「世の中ちょっと良くする部」のもう一つの取組みとして、「中小企業を元気にする女性活躍を基盤にしたWell-being経営」をテーマにした記者会見も行います。

記者会見では、女性の健康と働きやすさによる中小企業の生産性向上を目指す、筑波大学と武蔵野銀行による協業プロジェクトを発表。武蔵野銀行の長堀和正頭取も登壇し、今年12月からスタートする埼玉県内の中小企業の、経営層・実務者層向けに共同開発したリスキリングプログラムや、地域経済の実情や、地域金融の役割なども踏まえた今後の地域経済活性化への戦略について語ります。また、SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」プログラムディレクターで筑波大学の久野譜也教授が講演し、取り組みの背景や意義、女性の健康と働きやすさ支援の具体策について紹介します。



課外活動に取り組む
玉川学園の中高生たち



SIP 包摂プログラムディレクター
筑波大学 久野譜也 教授



武蔵野銀行
長堀和正 頭取

現役中高生参加のセッション(記者会見+ディスカッション)

※スマートウェルネスシティ首長研究会の一環として開催

- ◆開催日時: 令和7年 10月 27日(月) 13:15~15:00 (研究会プログラム自体は、11:00~17:45)
- ◆主催: Smart Wellness City 首長研究会
- ◆共催: 筑波大学スマートウェルネスシティ政策開発研究センター
- ◆後援: (一社)スマートウェルネスコミュニティ協議会
- ◆会場: 筑波大学東京キャンパス文京校舎 B1階 多目的講義室(丸ノ内線茗荷谷駅徒歩3分)
(〒112-0012 東京都文京区大塚3丁目29-1)

※当日会場にお越しいただけない場合はオンラインでもご参加いただけます。

ご希望の方は下記専用フォームにてお申し込みください。

※座席数に限りがございますので、どうぞお早めにお申し込みください。

- ◆申し込み締め切り: 10月 23日 15:00

- ◆申し込み方法: 右記の専用フォームまたは QR コードよりお申し込みください
※カメラマン(動画・スチール)の同行希望がございましたら上記フォームにて
あわせてご回答ください。



※ご取材について

セッションプログラムについて、全て撮影が可能です。

お申込みフォームは
[こちらをクリック](#)

【政策提言とディスカッションのテーマ】

「女性の健康と働きやすさ」「人生 100 年時代」

テーマ「女性の健康と働きやすさ」では、女性が心身の健康を維持しながら社会で活躍できる環境づくりを議論します。「人生 100 年時代」では、長寿化に伴う高齢者支援や障がい者支援の課題について、フレイルやコミュニティ、生きがいなど、様々な切り口で議論をします。いずれのテーマも、中高生ならではの視点から政策提言や意見を投げかけます。

ぜひ、次ページのプログラム概要についてご高覧頂き、
貴メディアにてご取材を検討いただきますよう、お願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム 第3期包摂課題 広報事務局

e-mail housetsu.sip.kouhou.fieldbook@gmail.com

担当者: 磯久(イソヒサ) TEL.080-3787-6520

【当日プログラム概要】

セッション①:13:25~13:45

「中小企業を元気にする女性の健康と働きやすさを基盤としたWell-being経営」

女性の健康と働きやすさ支援による中小企業の生産性向上を筑波大学とともに目指す「武蔵野銀行」の長堀和正頭取が登壇し、埼玉県内の中小企業の、経営層・実務者層向けに今年12月からスタート予定のリスクリングプログラムやその先の地域経済活性化への戦略について語ります。

登壇者:筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 久野譜也
武蔵野銀行 取締役頭取 長堀和正
玉川学園 生徒

セッション②:13:50~14:00

「中高生の世の中ちょっとよくする部活動から首長への提言

ー女性の健康と働きやすさと人生100年時代に向けた提言ー

現役中高生が女性の健康と働きやすさや人生100年時代に関する政策提言を首長に発信します。

登壇者:筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 久野譜也
学校法人玉川学園 理事長・学園長 小原芳明
世の中ちょっと良くする部代表 玉川学園 生徒

スペシャルセッション:14:17~14:45

「女性の健康と働きやすさ」「人生100年時代」…

現役中高生×首長20名 社会課題に挑む、白熱ディスカッション！

現役中高生が首長20名らと、社会課題について白熱議論します。

登壇者:SIPプログラムディレクター 久野譜也
首長代表2名
玉川学園 生徒代表2チーム
有識者:学校法人玉川学園 理事長・学園長 小原芳明
武蔵野銀行 執行役員総合企画部長 磯中克哉

参加首長20名らと意見交換・質疑応答
メディアからの質疑応答

14:46~ フォトセッション

※ご取材について

上記プログラムについて、全て撮影が可能です。

◆(注1)内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム」(SIP)

行政の枠や旧来の分野を超えたマネジメントによってイノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。内閣総理大臣を議長とする内閣府総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が司令塔となり産官学連携をはかり、基礎研究から実用化・事業化、すなわち出口まで見据えて一貫通貫で研究開発を推進しており、2023年度から5か年を第3期として14の課題に取り組んでいます。本プロジェクトは、この14課題のうち「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」において、研究開発の一環として実施しているものです。

◆(注2)「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」

包摂的コミュニティとは、「寛容性」と「自律性」を備えたコミュニティのことです。本コミュニティの形成には、すでに心身に高いリスクを抱えている人々へのアプローチだけではなく、その状態に至る前段階の人々を早期に発見し、守る仕組みとしてのポピュレーション・アプローチが重要です。健康無関心層が健康行動に向かうことや、住民のまちづくりや互助への参画など、人々の価値観や行動を変える「社会技術」の開発を行い、多様な個人を受容する「寛容性」と一人一人が主体的に行動する「自律性」を備えた社会の構築を目指しています。

◆(注3)「世の中ちょっと良くする部」

内閣府が主導するSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)は、社会課題を解決するための国家プロジェクト。そのテーマの一つである「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」は、誰もが安心して関われる社会づくりのための“場”や“仕組み”をつくる取り組みです。その実現に向けた活動を「世の中ちょっと良くする部」と名付け、さまざまな領域で具体的なアクションを進めています。

◆(注4)連携協定

玉川学園と「戦略的イノベーション創造プログラム第3期「包摂的コミュニティプラットフォームの構築 未来会議コンソーシアム」との主な連携内容は以下の通りです。

1. コンソーシアムは、玉川学園に対して多様性・包摂性教育の先進事例やワークショップ、共同研究、発信活動の機会を提供
2. 玉川学園は、教育現場での実証や社会浸透、若年層・保護者層への波及効果、科学的エビデンス拡充の機会を提供
3. 双方の人材交流を通じ、協定の目的達成に向けた活動を促進
この協定により、中高生が社会課題を自分事として学び、議論や提言を通じて社会に影響を与える教育プラットフォームが構築されます。

◆(注5)SWC(Smart Wellness City) 首長研究会

2009年に「ウエルネス＝健幸」をまちづくりの中核に据え、住民が健康で元気に暮らすことができる新しい都市モデル「スマート ウエルネス シティ」構築を目指す自治体首長が集まって発足。2025年9月時点で、42都道府県の133市区町村の首長が参加しています。

◆登壇者プロフィール



久野 譜也(くの しんや)

筑波大学大学院人間総合科学学術院 教授
スポーツウエルネス学学位プログラム スポーツウエルネスマネジメント分野長
筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター長
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」プログラムディレクター

筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。博士(医学)。2002年に健康増進分野日本初の大学発VB株式会社つくばウエルネスリサーチを設立。代表取締役社長兼任。科学的根拠に基づいた高齢化社会に対する日本の健康政策の構築を目指して2009年全国9市長とSmart Wellness City首長研究会を立ち上げ、現在42都道府県133区市町村に拡大。主な要職として、国(内閣府、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、等)、都道府県、基礎自治体の各種委員を歴任。なお現在、スポーツ庁は、スポーツ審議会委員 健康スポーツ部会・部会長等を務める。著書に、「70・80・90歳の若返り筋トレ」(NHK出版)、「60歳からの『筋活』一生歩ける・動ける体のつくり方」(三笠書房)、「筋トレスイッチ」(草思社)などがある。



豊岡 武士(とよおか たけし)

三島市長

日本獣医畜産大学を卒業後、静岡県職員として長く勤務し、緊急防災支援室長や三島市企画調整部長を歴任しました。平成11年からは静岡県議会議員を3期務め、平成22年に三島市長に初当選。現在4期目を務めています。全国史跡整備市町村協議会やスマートウエルネスシティ首長研究会の会長など、多くの公職も兼任し、地域の発展に尽力している。



川田 翔子(かわた しょうこ)

八幡市長

1990年奈良生まれ。京都大学経済学部 経済経営学科卒業。
歴史が生活に息づく京都の暮らしに惹かれ、また「政策」を仕事にしたかったこともあり、2015年京都市役所に入庁、まちづくりや福祉など3部署約7年の行政現場経験後、参議院議員秘書として国政現場経験を経て、2023年11月、京都府八幡市長選挙で初当選。女性市長としては全国最年少。

趣味は茶道、着物を着ること、寺社仏閣巡り、ランニング。



世の中
ちょっと
良くなる部
SIP's Team for an Inclusive Society

Press Release



報道関係各位

2025年10月
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」
筑波大学、SWC首長研究会



小原 芳明(おばら よしあき)

学校法人玉川学園 理事長・学園長

1946年生まれ。スタンフォード大学大学院教育政策分析専攻修士課程修了。
1987年玉川大学文学部教授、国際教育室長、通信教育部長、副学長を経て、1994年
玉川学園理事長、玉川大学学長、玉川学園学園長に就任。2024年3月学長退任。
現在、日本私立大学協会会長、全国私立大学教職課程協会会長、私立大学通信教育協
会会長、国立大学法人上越教育大学経営協議会委員を務める。
主な著書・訳書に、『アメリカ高等教育の大変貌』『アメリカ大学の優秀戦略』『ハーバード
大学の戦略』『授業の評価』『教育の挑戦』など(いずれも玉川大学出版部)。